

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : クリーンバリヤ
会社名 : 株式会社日本衛生センター
住所 : 東京都国立市矢川3-1-6 第1日衛ビル
担当部門 : 商品開発課
電話番号 : (042) 576-0110
FAX 番号 : (042) 572-2142
緊急連絡先 : (042) 576-0110

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響

人の健康に対する有害な影響 : 目、鼻、皮膚を刺激する可能性がある。
環境への影響 : 河川等に流出した場合はエマルジョン中の樹脂の粘着による呼吸困難のため、魚類が死亡する可能性がある。
物理的及び化学的危険性 : 通常の取扱いでは危険性はきわめて低い。
特定の危険有害性 : 知見なし。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
一般名 : 水性エマルジョン

化学名	化学式	含有量(%)	官報公示整理番号 (化審法 No.)
酢酸ビニル・アクリル酸 エステル共重合体	$(C_4H_6O_2 \cdot C_3H_5O_2R)_x$	24~28	6-306
ピグメント ホワイト-6		1~3	5-5225
ピグメント ブラック-7		1未満	5-3328
水		70~74	

危険有害成分 : なし

4. 応急措置

吸入した場合 : 蒸気、ガスなどを吸入して、気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動させて、安静、保温に努め、速やかに医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合 : 付着した衣服、靴をぬぎ、付着した部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。
目に入った場合 : 清浄な水で最低15分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。
飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗い、直ちに医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水、強化液、泡消火剤、粉末消火剤、ハロゲン化物消火剤
特定の消火方法 : このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。燃焼の際は、火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺を冷却する。
消火作業は風上から行う。
消火を行う者の保護 : 消火作業の際は適切な保護具(送気マスク、自給式呼吸器等)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際には保護靴、保護手袋、保護眼鏡などの保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 流路を毛布・土嚢等を用いてせき止め、河川、湖沼への流出を防止する。
河川、湖沼へ流入した場合は、必要に応じ、警察署・消防署・都道府県市町村の公害関連部署・河川管理局・水道局・保健所・農協・漁協等に直ちに連絡を取る。
- 除去方法 : 多量流出の場合はバキューム等で汲み上げ、又少量流出の場合はおが屑、土砂、パーライト等を混ぜモルタル状として凝固回収する。
- 二次災害の防止策 : 漏出した場所の周辺には、ロープを張るなどの措置を行い、作業員以外の立ち入りを禁止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 適切な保護具 (曝露防止及び保護措置の項を参照)を着用する。
手洗い、洗眼、うがい等の設備を設ける。
- 注意事項 : 取扱いは換気の良い場所で行う。
残液や、洗浄に使用した水は下水には流さないようにし、廃棄上の注意の項を参照して適切に処理する。
- 安全取扱い注意事項 : 取扱い後は手、顔等を良く洗い、うがいをする。

保管

- 技術的対策 : 皮張り防止のため容器を密閉して保管する。
- 混触禁止物質 : なし。
- 適切な保管条件 : 凍結、直射日光を避け、5℃から35℃の屋内で保管すること。
- 安全な容器包装材料 : 水含有製品の為、ポリ容器、内面ポリマーコーティングした容器等。

8. 曝露防止及び保護措置

- 設備対策 : 室内で取扱う場合は、局所排気装置又は全体換気装置を設置するほうが好ましい。
スプレーなどの使用で飛散する可能性がある場合はその対策をとる。

保護具

- 呼吸器の保護具 : 簡易マスク
- 手の保護具 : 保護手袋(ビニール製・ゴム製)
- 目の保護具 : 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 長袖、長ズボンの作業服、保護帽、保護靴
- 衛生対策 : 保護具は保管場所を定めて保管し、清潔なものを使用する。
取扱い場所の近くに手洗い、洗眼、うがい等の設備を設け、その位置を明示する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

- 形状 : 液体
- 色 : 灰色
- 臭い : 微酢酸ビニル臭
- pH : 3~6(水で50%希釈)

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

- 沸点 : 約100℃
- 融点 : 約0℃
- 引火点 : なし。
- 発火点 : なし。
- 爆発特性 : データなし。
- 密度 : 約1.1g/cm³(23℃)
- 溶媒に対する溶解性 : 水で無限大に希釈可能

10.安定性及び反応性

- 安定性 : 一般的な貯蔵・取扱いにおいて安定である。
特定条件下で生じる危険な反応 : 知見なし。
避けるべき条件 : 凍結させないこと。
危険有害な分解生成物 : 知見なし。

11.有害性情報

- 急性毒性 : 知見なし。
局所効果
吸入 : 蒸気を吸入すると、頭痛を起こす場合がある。
皮膚接触 : 皮膚に付着したままにすると、炎症を起こす場合がある。
目の接触 : 目に接触すると、炎症を起こす場合がある。
摂取 : 知見なし。

12.環境影響情報

- 移動性 : 水域へ移動する可能性がある。

13.廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄処理を業者に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、産業廃棄物管理表(マニフェスト)を交付して適切に処理すること。
焼却する場合は、大気汚染防止法、廃掃法、ダイオキシン類対策特別措置法及び都道府県市町村条例等に適合する焼却設備を用いて行う。
汚染容器・包装 : 廃棄処理を業者に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、産業廃棄物管理表(マニフェスト)を交付して適切に処理すること。
焼却する場合は、大気汚染防止法、廃掃法、ダイオキシン類対策特別措置法及び都道府県市町村条例等に適合する焼却設備を用いて行う。

14.輸送上の注意

- 陸上輸送 : 消防法・労働安全衛生法等に基づき積載、輸送を行う。
海上輸送 : 船舶安全法・港則法等に基づき積載、輸送を行う。
航空輸送 : 航空法等に基づき積載、輸送を行う。
国連分類・番号 : 該当しない。
輸送の特定の安全対策及び条件 : 運搬に際しては、容器に漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15.適用法令

- 消防法 : 非危険物。
毒物及び劇物取締法 : 該当しない。
労働安全衛生法 : 通知対象物質：酸化チタン(192)
化学物質管理促進法(PRTR) : 該当しない。

16.その他の情報

- 引用文献 : 化学物質等安全データシート(MSDS)ー第1部内容及び項目の順序 JIS Z 7250
日本化学工業協会編「製品安全データシートの作成指針」
化学工業日報社「化審法化学物質」

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得る為、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、個々の取扱い等の実態に応じて適切な使用条件を設定くださるようお願いいたします。